

平成 29 年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要と 高津中学校における今後の取り組みについて

秋冷の候、保護者の皆様にはますますご清祥のことと拝察いたします。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本校におきましては、学校教育目標を実現するため、

- ① 生徒に「生きる力」（確かな学力、豊かな心、健やかな体 等）を育成する。
- ② 生徒や保護者、地域等との信頼と連携をもとに、明るく生き生きとした学校づくりを推進する
- ③ 教職員一人一人が自らの資質や指導力の向上に努め、地域に根ざした特色ある教育活動を展開する。

の3点を教育方針として、日々の教育活動に取り組んでおります。

このたび、4月18日に3年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査の調査結果から見えてくる本校がめざす教育活動の成果と課題の一部をお知らせし、今後も保護者・地域の方々と共に本校の教育活動をより進めていくことができると考え、この報告書を作成いたしました。

なお、本調査によって測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面であることが調査の実施要領にも示されておりますので、地域・保護者の皆様には、本調査の趣旨をご理解いただき、ご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

1. 調査結果の概要

(1) 教科の調査

① 国語

【昨年度の目標】

4領域の平均正答率が全国に比べてすべて上回る状況をめざし、特に「活用」に関する問題の記述式問題については、全国に比べて正答率が10ポイント以上、上回ることをめざしました。

また、国語における理解度や関心等の数値を全国と同程度になることをめざしました。

【現状と課題】

○「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の4領域すべてで全国を上回っており、良好な状況にあります。

○授業に対する理解度、国語への関心ともに全国を大きく上回っています。国語の学習に対して意欲的に取り組んでいる状況が現れています。

●「活用」に関する問題の記述式問題の平均正答率は約6割で全国を上回っていますが、「全国に比べて平均正答率を10ポイント上回る」という昨年度の目標は達成できませんでした。

② 数学

【昨年度の目標】

国語同様、4領域の平均正答率が全国に比べてすべて上回る状況をめざし、「活用」に関する問題の「説明する問題」については、全国に比べて正答率が10ポイント以上、上回り、無解答率の平均が5ポイント以上、下回ることをめざしました。

また、数学の有用性を実感させる取組等を通して、数学に関する関心等の数値を全国と同程度にすることをめざしました。

【現状と課題】

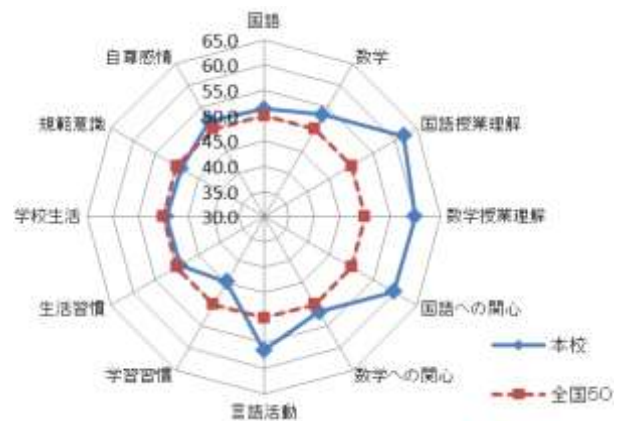
○「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の4領域すべてで、全国を上回っております。

○授業に対する理解度、数学への関心ともに全国を上回っております。

●「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という質問に肯定的に答えた生徒は全国と比べて約14ポイント低く、数学の有用性を感じられていない生徒が多い結果となりました。

●「説明する問題」の正答率の平均は全国に比べて高いものの、平均正答率は27.9%、無解答率は22.3%と無回答率は、まだ高く、課題と考えております。

*全国結果を50とし、それに対する本校の結果を表しています。



国語、数学ともに、理解度や関心等の部分で目標を達成することができました。また、「好きな授業がありますか」という質問に対して、82.6%の生徒が肯定的に答えており、学習に対して前向きに捉えている生徒が多い状況と考えております。一方で学習に対する有用性については、「国語の勉強は大切だと思いますか」という質問に96.8%と、ほとんどの生徒が肯定的に答えているのに対し、「数学の勉強は大切だと思いますか」という質問に対して肯定的に答えている生徒が、76.8%とやや全国を下回っている状況となっております。今後も教員一人一人が指導力を向上させることで、生徒にとってより充実感を得られるような授業づくりをめざしていきます。

(2) 学習・生活習慣や意識等に関する調査

【昨年度の目標】

キャリア在り方生き方教育の計画的な推進、道徳教育や人権尊重教育、学校行事等の充実を図り、「自分のよさを認識できる生徒」「将来の夢や目標をもつ生徒」「失敗を恐れずに挑戦する生徒」の割合を、いずれも5ポイント程度向上することをめざしました。

【現状と課題】

- 「自分にはよいところがある」について78.7%（昨年度68.4%）の生徒が肯定的な回答をしており、目標を達成することができました。また、全国と比べても8ポイント上回っており、自己肯定感が少しずつ育ってきていると考えられます。
- 「将来の夢や目標をもっている」については72.9%（昨年度73.3%）、「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している」については72.3%（昨年度70.6%）となっております、依然として7割程度にとどまっているという課題があります。
- 「学校のきまりを守っていますか」「友達との約束を守っていると思いますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」といった質問について、肯定的に回答した生徒はそれぞれ93.5%、93.5%、91.6%（全国95.2%、97.4%、92.8%）といずれも9割を超えていることから、良好な状況にあると考えられます。
- 家で「自分で計画を立てて勉強をしている」「学校の授業の予習をしている」「学校の授業の復習をしている」と回答した生徒の割合はそれぞれ49.7%、36.2%、35.5%（全国51.5%、31.7%、50.5%）と5割を下回っており、家庭学習への取組に課題があります。
- 「朝食を毎日食べている」生徒の割合は94.9%（全国93.2%）であり、良好な状況といえます。
- 「毎日、同じくらいの時刻に起きている」生徒の割合は91.0%（全国92.4%）と良好な状況ですが、一方で「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」生徒の割合は71.6%（全国75.6%）と7割にとどまっており、就寝時刻に課題があります。

自尊感情については少しずつ育っておりますが、目標をもって挑戦することに課題が見られます。学校行事や体験活動を通して、目標をもって挑戦する姿勢を育てていきたいと考えております。また、お互いが認め合う環境を作ることで、さらに自尊感情を高めていくことをめざします。

家庭での学習環境においては、授業中のねらいと振り返りを明確にすることで、家庭での学習の指標を与えていきたいと考えております。

2. 調査結果をもとにした次年度に向けた取組目標

(1) 教科に関する取組目標

生徒が協働して課題を解決する授業を通して、「わかる授業」を推進し、次年度も国語、数学ともに「4領域の平均正答率が全国に比べてすべて上回る状況」をめざします。特に、自分の考えや手順、方法を伝えることを通して、国語の「記述式問題」と数学の「説明する問題」で全国より10ポイント上回ることをめざします。また、日常とのつながりを意識した授業を心がけ、数学に関する関心等の数値を5ポイント程度向上することをめざします。

(2) 学習・生活習慣や意識等に関する取組目標

学校行事や体験活動、キャリア在り方生き方教育等の一層の充実を図ることで、「将来の夢や目標をもつ生徒」「失敗を恐れずに挑戦する生徒」の割合が、いずれも今年度より5ポイント程度向上することをめざします。また、家庭学習の充実も図っていきたいと考えておりますので、今後ご家庭でのご協力をいただければと考えております。

教育委員会から

高津中学校では、生徒に「生きる力」として「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を身に付けさせることを、教育方針の1つとして掲げ、日々の活動に取り組んでいます。普段からの体験的な活動を通して、生徒同士、生徒と先生、生徒と地域の方とのつながりが深く、自己肯定感も高い様子がうかがえます。先生方の「わかる・楽しい・考える授業」を模索し、行う姿勢が、生徒の授業への関心の高さと学力を支えていると考えられます。

高津区・教育担当